

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月9日 (2017.11.9)

【公表番号】特表2016-538240(P2016-538240A)

【公表日】平成28年12月8日 (2016.12.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-067

【出願番号】特願2016-516911(P2016-516911)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 7/04 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 7/04

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月25日 (2017.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 3 5 3 ~ 3 6 3、3 7 2 ~ 3 7 5、3 7 6 ~ 3 7 8、3 9 5 ~ 4 0 1、4 1 1 ~ 4 1 9、4 2 6 ~ 4 3 3、4 3 7 ~ 4 4 9、4 5 4 ~ 4 5 6、4 5 9 ~ 4 6 9、4 7 5 ~ 4 8 2、4 8 7 ~ 4 9 5、3 1 8 ~ 3 2 3、3 2 5 ~ 3 2 7、3 3 0 ~ 3 3 5、3 4 1 ~ 3 4 7、1 4 ~ 3 3、及び 1 5 9 から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分 (C M) を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項 2】

前記 C M が、配列番号 1 4 ~ 3 3 及び 1 5 9 から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 3】

配列番号 3 6 4 ~ 3 7 0、3 7 9 ~ 3 9 3、4 0 2 ~ 4 0 9、4 2 0 ~ 4 2 4、4 3 4、4 3 5、4 5 0 ~ 4 5 2、4 5 7、4 7 0 ~ 4 7 2、4 7 4、及び 4 8 3 から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分 (C M) を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項 4】

配列番号 3 2 8、3 3 6 ~ 3 3 9、及び 3 4 8 ~ 3 5 1 から成る群から選択されるアミノ酸配列を含む、切断可能部分 (C M) を含む単離ポリペプチドであって、ここで、前記切断可能部分が、マトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、単離ポリペプチド。

【請求項 5】

前記 C M が、M M R 9 又は M M P 1 4 の少なくとも 1 つにより切断される、請求項 1 ~

4 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 6】

前記ポリペプチドが、標的と結合する抗体又はその抗原結合フラグメント (A B) を含み、

任意には、前記抗原結合フラグメントは、F a b フラグメント、F (a b) フラグメント、s c F v、s c A b、d A b、単ドメイン重鎖抗体、及び単ドメイン軽鎖抗体から成る群から選択される、

請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 7】

前記 C M が、前記標的と組織において共同在するマトリックス・メタロプロテアーゼのための基質である、請求項 6 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 8】

前記単離ポリペプチドが A B を含むとき、前記 A B が、前記 C M に連結され、

任意には、前記単離ポリペプチドが A B を含むとき、前記 A B が、前記 C M に直接連結され、

任意には、前記単離ポリペプチドが A B を含むとき、前記 A B が、連結ペプチドを介して前記 C M に連結される、

請求項 6 又は 7 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 9】

前記単離ポリペプチドが、マスキング部分 (M M) を含む、請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 10】

前記 M M が、標的への結合についての A B の平衡解離定数よりも高い、A B への結合についての平衡解離定数を有する、請求項 9 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 11】

前記 M M が、40 個以下のアミノ酸の長さのポリペプチドである、請求項 9 又は 10 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 12】

前記 M M が前記 C M に結合されて、未切断状態での前記単離ポリペプチドが、以下の N - 末端から C - 末端への構造配置：

M M - C M - A B 又は A B - C M - M M

を含む、請求項 9 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 13】

前記単離ポリペプチドが、前記 M M と前記 C M との間に連結ペプチドを含み、かつ / 又は、

前記単離ポリペプチドが、前記 C M と前記 A B との間に連結ペプチドを含む、

請求項 12 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 14】

前記単離ポリペプチドが、第 1 連結ペプチド (L P 1) 及び第 2 連結ペプチド (L P 2) を含み、そして

未切断状態での前記単離ポリペプチドが、以下の N - 末端から C - 末端への構造配置：
M M - L P 1 - C M - L P 2 - A B、又は A B - L P 2 - C M - L P 1 - M M

を有し、

任意には、前記 2 種の連結ペプチドが、お互いに同一である必要はない、

請求項 10 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 15】

各 L P 1 及び L P 2 が、約 1 ~ 20 個のアミノ酸の長さのペプチドである、請求項 14 に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 16】

前記 M M のアミノ酸配列が、前記標的の配列とは異なり、そして前記 A B の天然の結合

パートナーのアミノ酸配列に対して 50 % 以下の同一性である、請求項 10 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。

【請求項 17】

前記単離ポリペプチドが切断された状態であるとき、前記 MM は、標的への結合について、前記 AB に干渉しないか、又は前記 AB と競合しない、請求項 10 ~ 16 のいずれか 1 項に記載の単離ポリペプチド。